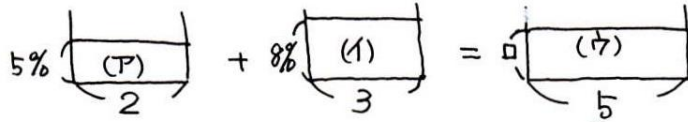


5%の食塩水と8%の食塩水を2:3の割合で混ぜた食塩水Aがあります。この食塩水に14%の食塩水を120g混ぜたところ、10%の食塩水Bになりました。これについて、次の問いに答えなさい。

- (1) 食塩水Aの濃さは何%ですか。
- (2) 食塩水Bの重さは何gですか。

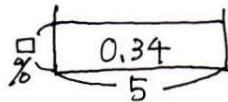
(1) ビーカーの図を書いてみます。



(P)の塩の量... $2 \times 0.05 = 0.1$

(1)の塩の量... $3 \times 0.08 = 0.24$

(G)にある塩の合計... $0.1 + 0.24 = 0.34$



$\square = 0.34 \div 5 \times 100$
 $= 0.34 \times 100 \div 5$
 $= 6.8(\%)$

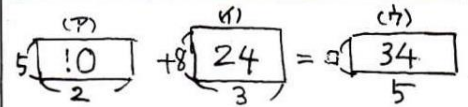
6.8%

(参考)

左図のビーカー図を面積図として考えることもできます。

すなわち

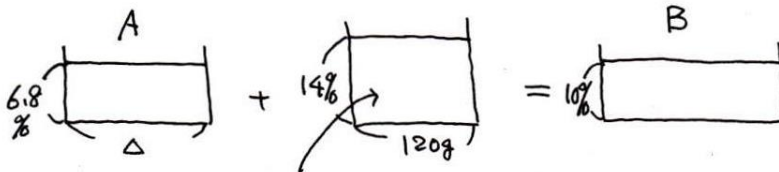
(P)の面積 + (1)の面積 = (G)の面積



$\square = 34 \div 5 = 6.8(\%)$

(面積としての計算ですから%はそのまま小数に直します)

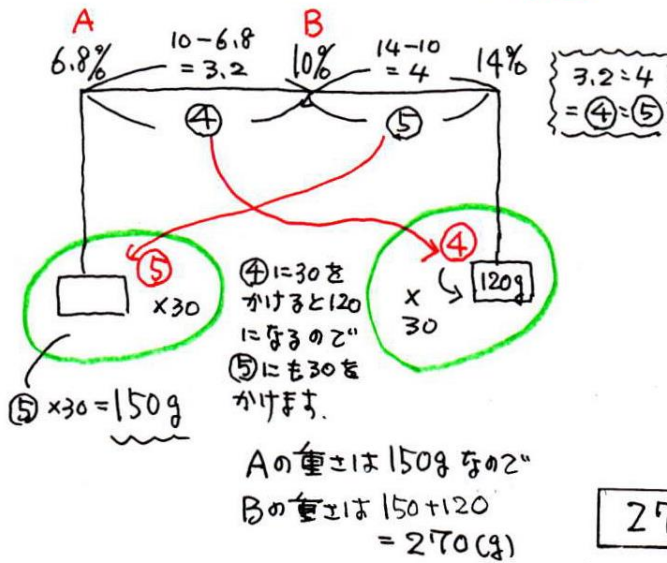
(2) まずビーカーの図を書きそれから作戦を練ります。



ここしか塩の量がわからない。

塩の量からの計算ができません。

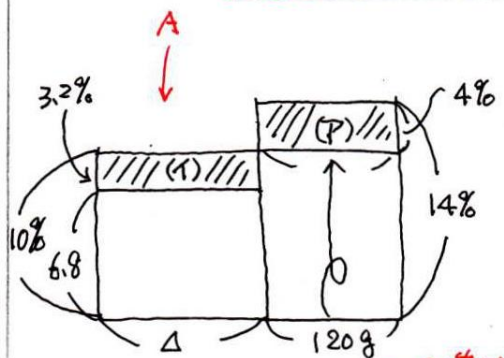
ここはてんびんか面積図です。



てんびんか面積図かは自分で判断し得意な方でトレーニングするように。

面積図

(1)の(参考)の合体図です。



(P) = (1) です。

(P) ... $120 \times 4 = 480$

(A) 3.2 $\square = 480 \div 3.2 = 150(g)$

Aが150gなのぞ

Bは150 + 120 = 270(g)

270g